
12月の空気

歩太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

12月の空氣

【Zコード】

N4371D

【作者名】

歩太

【あらすじ】

高校で野球をやつている泰弘の元に突如告げられた父の病気。いろいろな思いが交錯する中、それぞれの決意が。

決意

また、この季節がやつて來た。秋の空から冬の空へと變わる1-2月。世の中は、新年を気持ちよく迎えるための大掃除を着々と作業していた。

秋の心地よい空氣から冬の心臓をつつ様な空氣へと變わるこの時期が僕は好きではなかつた。

お父はこの季節がくる2年とちよつと前に胃ガンと診断された。

お父さん胃ガンになつたから…。

漠然と告げられたその宣告にただ言葉を失つた僕にお母さんはもつ一言僕に、僕だけに告げた。

野球部、考えてくれないかな…？

主語がないその言葉を1テンポ遅れて理解する。

何も言つてないのに涙が落ちる。

当時、16歳だった僕は必死に大人にならうとしていた。
今までの努力をすべて捨てて…

わかつた。

たつた一言そつとなくただけなのに涙が止まらない。どうしようもなく溢れてきた。

お父の病気の事を話そつとするお母さんを出でけ怒鳴り部屋から追

い出すと、僕は声を殺して激しく泣いた。

次の日の夜に詳しい話しを聞いた。お母さんはまだ子供の僕にずいぶんかみくだいて説明してくれた。

僕が野球をやめなればならない理由も… 全部。

腫を全部無くすのはなんとか大丈夫だったけど癌になつている所はどうないと駄目なの。それでも腫を一部分でも無くすといつのは、日常生活に相当な障害になるの。

薬物投与で……

なんで野球やめないとダメなの？

まだ、話している言葉を遮つて聞く。早く聞きたかった。
お母さんはさつきより顔をゆがめて話す。

お父さん、手術終わつたら転勤になるの。今までの仕事はちょっと力仕事だつたから力を使わない所に。

けど、やっぱりその分給料は落ちぢやう。それで……
言葉をつまらせている内に

どのくらい？

と聞いた。

半分以上……

それだけの言葉で充分だった。今の生活でさえ金融会社から毎月お金を借りて暮らしていたのに、給料がそつとなつたらびたび遠征費やユニフォーム代がかかる僕をやめさせるのは当たり前の様な気

がする……

けど、生活の方は何とかするから。大樹にお金を当分借りて、お母さんも働くから。泰弘と美有希の学校は絶対卒業させるから。ゴメンね……

お母さんの「ゴメンねにどれほど」の思いが込もつていたかも分からずになん。

と、つぶやいて僕は部屋に帰って、泣いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4371d/>

12月の空気

2011年1月16日02時51分発行